

(2) 職種

(○はひとつ)

1. 受付、経理、一般事務などの事務職	8. 理・美容師、調理師などのサービス職
2. 販売、外交、セールスなどの販売職	9. ウェイター・ウェイトレス、ホテルマンなどのサービス職
3. 大工・左官、建具師などの職人的仕事	10. 介護や看護など福祉・医療関係の仕事
4. 土木工事などの現場作業	11. 運輸関係の仕事（トラック運転手、配達員など）
5. 自動車整備・組立作業・機械のオペレーターなどの技能職	12. 保安関係の仕事（守衛や警備、消防、警察、自衛官など）
6. SE・プログラマーなどの情報関係の技術職	13. 不明・未定
7. 設計や工程管理などを行う技術職	14. その他（ ）

問6. あなたは20歳代後半から30歳頃になったときに、どのような働き方をしたいと思いますか。最も近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

1. 自分で事業を起こす、経営者になる	5. 仕事以外の自分の時間を重視する働き方
2. 親の家業をつぐ	6. 専業主婦・主夫になる
3. ひとつの会社で比較的長く働き、能力を蓄積できるような働き方	7. その他（ ）
4. 比較的組織に縛られず、専門的な技術・知識を活かした働き方	8. わからない

問7. あなたは、これまでにアルバイト等で働いた経験がありますか。(○はひとつ)

1. ある ⇒ 問7-1へお進みください
2. ない ⇒ 問9へお進みください

問7-1. 現在又は直近のアルバイト先の職種（現在複数のアルバイトをしている場合はすべてについてお答えください。）(あてはまるものすべてに○)

1. ファーストフード、コーヒーショップ、居酒屋、ファミリーレストラン、コンビニ、スーパー、デパート、ショップなどでの店頭販売、レジ、調理、フロア係など	4. テレフォンアポインター、コンパニオン、カード加入勧誘などの販売促進スタッフなど
2. 上記1における、グループリーダーなど、後輩を指導する役職	5. 一般事務、コンピュータ操作など
3. 上記1における、店長代理など、アルバイト管理全般や店舗運営にかかわる役職	6. 引っ越し作業業務、会場設営、製造現場における軽作業など
	7. 家庭教師、塾講師、通信添削指導員など
	8. その他（ ）

問7-2. 残業を含めた先月（2008年9月）の賃金収入 (○はひとつ)

1. 先月は働いていなかった	4. 5万～10万円未満	6. 20万円以上
2. 1万円未満	5. 10万～20万円未満	
3. 1万～5万円未満		

問7-3. 先月、あなたは1週間に平均して何時間ぐらいアルバイトをしていましたか。  
(○はひとつ)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. アルバイトはしなかった | 6. 20～25 時間未満 |
| 2. 1～5 時間未満    | 7. 25～30 時間未満 |
| 3. 5～10 時間未満   | 8. 30～35 時間未満 |
| 4. 10～15 時間未満  | 9. 35～40 時間未満 |
| 5. 15～20 時間未満  | 10. 40 時間以上   |

問8. 【問7でアルバイト経験があると回答した方におたずねします】

あなたは、アルバイト先で以下のことを経験したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 実際の労働条件が、募集や面接等の際に提示された労働条件と違う                |
| 2. 労働条件を書面で提示されたことがない                            |
| 3. 就業規則がいつでも確認できるようになっていない                       |
| 4. 賃金が一方的に引き下げられた                                |
| 5. 賃金が毎月決まった日に支払われない                             |
| 6. 残業代が支払われなかった                                  |
| 7. 残業代が割増賃金ではなかった                                |
| 8. 残業時間を過少申告させられた                                |
| 9. 妊娠したことを理由に、退職を迫られた                            |
| 10. 年次有給休暇の取得を申請したが認められなかった                      |
| 11. 1日に6時間を超えて働いても休憩時間がもらえない                     |
| 12. 労働災害を隠された                                    |
| 13. 更新されると思っていた有期労働契約が更新されなかった                   |
| 14. 違約金や損害賠償額を定めた労働契約を結んだ(途中で辞めたら、遅刻したら、罰金○万円など) |
| 15. ミスをしたら賃金から天引きで賠償させられた                        |
| 16. セクシュアルハラスメント(性的ないやがらせ)を受けた                   |
| 17. 上司・同僚によるいやがらせを受けた                            |
| 18. その他( )                                       |
| 19. 上記のような不当な扱いは経験していない                          |

問8-1. 【問8で1～18に1つ以上○をつけた方におたずねします】

あなたは、そのような経験をしたときに次に挙げるような行動をとりましたか。これまでにとった行動すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 上司に相談した                 | 8. 親に相談した                 |
| 2. 自分で会社に掛け合った             | 9. 家族(親以外)・親類に相談した        |
| 3. 職場の先輩社員・同僚に相談した         | 10. 学校の先生に相談した            |
| 4. 労働組合に相談した               | 11. 友人に相談した               |
| 5. 労働基準監督署に相談・申告した         | 12. インターネットで調べた           |
| 6. 都道府県労働局・地方自治体の相談窓口を利用した | 13. 本や雑誌で調べた              |
| 7. 弁護士に相談した                | 14. 転職した・辞めた              |
|                            | 15. 何もなかった ⇒ <u>問8-3へ</u> |
|                            | 16. その他( )                |

問8-2. 行動を起こした結果、あなたの経験した問題が解決したことがありますか。

(○はひとつ)

1. ほとんど解決した	3. 解決したことの方が少ない
2. 解決したことの方が多い	4. ほとんど解決しなかった

問8-3. 【問8-1で「15. 何もしなかった」とお答えした方におたずねします】

それはなぜですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 対処するのが面倒だったから	4. どうしたらよいのか分からなかったから
2. 会社の反応が怖かったから	5. どうせ何も変わらないから
3. 人間関係が悪くなりそうだから	6. その他 ( )

問9. 次の言葉のうち、意味のわかるものに○をつけてください。そのうち、これまで通学した学校における授業や進路指導で意味を教わったものに○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

	(1) 意味のわかるもの	(2) 学校における授業や進路指導で教わったもの
団結権	1	1
最低賃金	2	2
残業割増	3	3
年次有給休暇 (年休)	4	4
育児休業	5	5
介護休業	6	6
未払い賃金の請求権	7	7
男女雇用機会均等法	8	8
就業規則	9	9
労災保険	10	10
雇用保険	11	11
教育訓練給付金	12	12
派遣労働者	13	13
ハローワーク (公共職業安定所)	14	14
労働基準監督署	15	15
職業訓練校	16	16
意味の分かるもの/教わったものはひとつもない	17	17

問 10. あなたは、以下の下線部の記述について、法律違反と思われるものがありますか。いずれかに○をつけてください。  
(それぞれ○はひとつずつ)

事例	法律違反と思われる	法律違反ではない	わからない
Aさんは、就職した会社に労働組合がなかったので、同じ職場の人を誘って、労働組合を作ったところ、 <u>会社はAさんに対して労働組合を解散するように言った。</u>	1	2	3
Bさんは、スーパーで働いているが、 <u>パートなので、時給が国で決められた最低賃金より低い。</u>	1	2	3
Cさんは工場で時給 1,000 円で働いている。 <u>週に 40 時間働いても 50 時間働いても、時給は同じ 1,000 円が支給される。</u>	1	2	3
Dさんは、今年 4 月に採用された 1 年目の新入社員で、これまで欠勤はしていない。 <u>Dさんは、10 月に友人と旅行に行くため、会社に 3 日間の年次有給休暇を申請した。</u>	1	2	3
Eさんは、近々出産の予定である。そこで、育児休業を取得しようと会社に申し出たら、 <u>会社から「うちには育児休業制度はないからとれない」と言われた。</u>	1	2	3
Fさんの勤めていた会社が倒産した。 <u>Fさんは、その会社に、まだ受け取っていない先月分の給与を支払うよう申し出た。</u>	1	2	3
Gさんは女性で、同僚のHさん（男性）と同じ仕事をしているが、 <u>会社はGさんに対して「Gさんは女性だからHさんよりも給料を低くしている」と言った。</u>	1	2	3
Iさんは、会社から「仕事がないので休んでください。」と言われた。 <u>Iさんは、会社に対して、休業期間中の手当を請求した。</u>	1	2	3
Jさんは、建設現場で仕事中に怪我をした。 <u>会社から「治療費は、労災保険ではなく、健康保険を利用して欲しい」と言われた。</u>	1	2	3

問 11. 以下の各項目について、受講・参加した経験をお答えください。(2)は短大以上に進学された方のみお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	(1) 高校 までに学んだ	(2) 短大・高専・専修 大学・大学院で学んだ
進学・就職など進路を考えるための授業・プログラム	1	1
就職活動の進め方を知る授業・プログラム	2	2
就職活動に向けた模擬面接、エントリーシート の書き方、社会人マナーなどの授業・プログラム	3	3
業界説明会・企業説明会	4	4
職業体験学習やインターンシップを行う授業・プログラム	5	5
働き方や生き方、キャリアを考える授業・プログラム	6	6
職業適性や自己の価値観、強み・弱みなどを知る授業・プログラム	7	7
産業構造の変化や働き方の変化、労働市場の状況などを知る授業・プログラム	8	8
卒業生や経営者、人事担当者などの話を聞く授業・プログラム	9	9
求人票の見方を学ぶ授業・プログラム	10	10
労働者の権利・義務を学ぶ授業・プログラム	11	11
資格取得を目的とした授業・プログラム	12	12
進学・就職・進路に関する個別相談	13	13
ひとつも経験していない	14	14

問 12. ふだん、あなたは次のことを行いますか。それぞれの項目について、「1ほとんどしない」から「4非常によくする」のうちもっとも当てはまるものに○をつけてください。(それぞれ○はひとつずつ)

	ほとんど しない	あまり しない	よく する	非常 によく する
友だちとまじめな話をする	1	2	3	4
友だちと仕事や働くことについて話をする	1	2	3	4
家族と仕事や働くことについて話をする	1	2	3	4
テレビのニュースをみる	1	2	3	4
新聞の政治欄や経済欄を読む	1	2	3	4
漫画や雑誌以外の本を読む	1	2	3	4
部(クラブ)活動に参加する	1	2	3	4
学校外のスポーツ活動や習いごと(音楽・芸術・語学・踊りなど)に参加する	1	2	3	4
ボランティア・地域活動に参加する	1	2	3	4

問 13. ふだん、あなたは、以下のことについて誰とよく話をしますか。

(あてはまるものすべてに○)

	(保護者) ご家族	学校の先生	先輩社員 先の上司や アルバイト	友人	その他	誰とも 話さない
学校での出来事について	1	2	3	4	5	6
学校卒業後の進学について	1	2	3	4	5	6
世のなかの出来事について	1	2	3	4	5	6
悩み事について	1	2	3	4	5	6

問 14. 次の事がらについて、あてはまるものに○をつけて下さい。

(それぞれ○はひとつずつ)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない
どんな仕事をしたいのかよくわからない	1	2	3
自分には人を引っばっていく力がある	1	2	3
嫌いな人、苦手な人とも、うまく付き合う努力をしている	1	2	3
考えていることが伝わらないときは、相手が理解するまで伝える努力をする	1	2	3
分からないことは積極的に自分で調べたり、人に聞いたりする。	1	2	3
将来、人の役に立つ仕事をしたいと思う	1	2	3
将来、仕事で人に尊敬されたいと思う	1	2	3
将来、とにかくたくさんお金を稼ぎたい	1	2	3

問 15. あなたが 15 歳の頃のあなたの家庭の暮らし向きは、当時の平均的な家庭と比べて、  
どうでしたか。(○はひとつ)

1. かなり良かった	3. ほぼ平均	5. かなり悪かった
2. やや良かった	4. やや悪かった	6. わからない

問 16. 中学 3 年生の頃、あなたの成績はどれくらいでしたか。(○はひとつ)

1. 上のほう	3. まんなかぐらい	5. 下のほう
2. やや上のほう	4. やや下のほう	

問 17. あなたが通っている高校又は通っていた高校では、おおむねどのくらいの割合の人が  
大学・短大に進学しますか。(○はひとつ)

1. ほとんど進学しない	5. ほぼ全員進学する
2. 進学する人は少ない (1 割から 3 割)	6. 高校に通わなかった
3. 半分くらい進学する	7. わからない
4. 進学する人が多い (7 割から 9 割)	

質問は以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。

## 2. 社会人編

### 問1. 性別

(○はひとつ)

2. 男性	2. 女性
-------	-------

### 問2. 年齢 (2008年10月現在)

	歳
--	---

### 問3. 就業状況

#### 問3-1. 現在の就業形態

(○はひとつ)

1. 正社員 (管理職)	} <u>問3-2へ</u>	5. 自営業・内職	} <u>問4へ</u>
2. 正社員 (一般)		6. 専業主婦 (夫)	
3. パート・契約社員・アルバイトなど		7. その他	
4. 派遣社員			

#### 問3-2. 現在の勤め先での勤続年数

(○はひとつ)

1. 1ヶ月未満	4. 6ヶ月～1年未満	7. 5年～10年未満
2. 1ヶ月～3ヶ月未満	5. 1年～3年未満	8. 10年～20年未満
3. 3ヶ月～6ヶ月未満	6. 3年～5年未満	9. 20年以上

#### 問3-3. 現在の勤め先の業種

(○はひとつ)

1. 農林漁業、鉱業、採石業、砂利採取業	9. 不動産業、物品賃貸業
2. 建設業	10. 学術研究、専門・技術サービス業
3. 製造業	11. 宿泊業、飲食サービス業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	12. 生活関連サービス業、娯楽業
5. 情報通信業	13. 教育、学習支援業
6. 運輸業、郵便業	14. 医療、福祉
7. 卸売業、小売業	15. その他のサービス業(10～14以外)
8. 金融業、保険業	16. 公務員
	17. その他 ( )

#### 問3-4. 現在の職種

(○はひとつ)

1. 受付、経理、一般事務などの事務職	8. 理・美容師、調理師などのサービス職
2. 販売、外交、セールスなどの販売職	9. ウェイター・ウェイトレス、ホテルマンなどのサービス職
3. 大工・左官、建具師などの職人的仕事	10. 介護や看護など福祉・医療関係の仕事
4. 土木工事などの現場作業者	11. 運輸関係の仕事 (トラック運転手、配達員など)
5. 自動車整備・組立作業・機械のオペレーターなどの技能職	12. 保安関係の仕事 (守衛や警備、消防、警察、自衛官など)
6. SE・プログラマーなどの情報関係の技術職	13. その他 ( )
7. 設計や工程管理などを行う技術職	

問3-5. 現在の勤め先の企業規模

(○はひとつ)

1. 9人以下	3. 100人～999人	5. 分からない
2. 10人～99人	4. 1000人以上	

問3-6. 今の仕事を1年間続けた場合の賃金年収はどのくらいですか。(税・社会保険料込、残業代込)

(○はひとつ)

1. 100万円未満	5. 400～500万円未満	9. 800～900万円未満
2. 100～200万円未満	6. 500～600万円未満	10. 900～1000万円未満
3. 200～300万円未満	7. 600～700万円未満	11. 1000万円以上
4. 300～400万円未満	8. 700～800万円未満	

問3-7. 労働組合の状況などについておたずねします。

(1) 勤め先に労働組合はありますか。

(○はひとつ)

1. 労働組合はある
2. 労働組合はない
3. 労働組合があるかどうか分からない

(2) あなたは労働組合に入っていますか。

(○はひとつ)

1. 勤め先にある労働組合に加入している
2. 勤め先以外の労働組合に加入している
3. 現在は加入していないが過去に加入していた
4. 加入したことがない

問3-8. 先週1週間で、実際に何時間働きましたか。

1週間でおよそ

□	.	□
---	---	---

時間

問3-9. 昨年度1年間に、あなたは年次有給休暇を取りましたか。また、取った場合は、何日でしたか。

(○はひとつ)

1. 取った	⇒	□	.	□	日
2. 取らなかった					
3. 年次有給休暇はない					

問3-10. あなたの勤め先に就業規則はありますか。

(○はひとつ)

1. 就業規則はある
2. 就業規則はない
3. あるかどうか分からない

問3-10-1. 【問3-10で「就業規則はある」とお答えした方におたずねします】

就業規則はどこにありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 文書で配布され、自分で持っている
2. 職場の見やすい場所に掲示されている
3. 職場のいつでも見ることができる場所に備え付けられている
4. その他 ( )
5. どこにあるか分からない



**【すべての方におたずねします】**

問4. 婚姻状況をお答えください。 (○はひとつ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない |
|-----------|------------|

問5. 6歳以下のお子さんがいらっしゃいますか。 (○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6. 最終学歴（大学や短大等を卒業した後に専修学校に入学・卒業した場合は、大学や短大等を選んでください。） (○はひとつ)

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 中学校                | 7. 短期大学・高等専門学校 |
| 2. 高等学校（普通科）          | 8. 大学          |
| 3. 高等学校（商業系）          | 9. 大学院         |
| 4. 高等学校（工業系）          |                |
| 5. 高等学校（農業・家庭・家政・その他） |                |
| 6. 専修学校               |                |

問7. あなたは、これまでに転職したことがありますか。（学生時代のアルバイトは含まないでください。） (○はひとつ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問8. 次の用語のうち、内容を知っているものに○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. 団結権        | 10. 労災保険            |
| 2. 最低賃金       | 11. 雇用保険            |
| 3. 残業割増       | 12. 教育訓練給付金         |
| 4. 年次有給休暇（年休） | 13. 派遣労働者           |
| 5. 育児休業       | 14. ハローワーク（公共職業安定所） |
| 6. 介護休業       | 15. 労働基準監督署         |
| 7. 未払い賃金の請求権  | 16. 職業訓練校           |
| 8. 男女雇用機会均等法  | 17. 意味のわかるものはひとつもない |
| 9. 就業規則       |                     |

問9. あなたは、以下の下線部の記述について、法律違反と思われるものがありますか。い  
 ずれかに○をつけてください。(それぞれ○はひとつずつ)

事 例	法律違反と思われる	法律違反ではない	わからない
Aさんは、就職した会社に労働組合がなかったので、同じ職場の人を誘って、労働組合を作ったところ、 <u>会社はAさんに対して労働組合を解散するように言った。</u>	1	2	3
Bさんは、スーパーで働いているが、 <u>パートなので、時給が国で決められた最低賃金より低い。</u>	1	2	3
Cさんは工場で時給1,000円で働いている。 <u>週に40時間働いても50時間働いても時給は同じ1,000円が支給される。</u>	1	2	3
Dさんは、今年4月に採用された1年目の新入社員で、これまで欠勤はしていない。 <u>Dさんは、10月に友人と旅行に行くため、会社に3日間の年次有給休暇を申請した。</u>	1	2	3
Eさんは、近々出産の予定である。そこで、育児休業を取得しようと会社に申し出たら、 <u>会社から「うちには育児休業制度はないからとれない」と言われた。</u>	1	2	3
Fさんの勤めていた会社が倒産した。 <u>Fさんは、その会社に、まだ受け取っていない先月分の給与を支払うよう申し出た。</u>	1	2	3
Gさんは女性で、同僚のHさん(男性)と同じ仕事をしているが、 <u>会社はGさんに対して「Gさんは女性だからHさんよりも給料を低くしている」と言った。</u>	1	2	3
Iさんは、会社から「仕事がないので休んでください。」と言われた。 <u>Iさんは、会社に対して、休業期間中の手当を請求した。</u>	1	2	3
Jさんは、建設現場で仕事中に怪我をした。 <u>会社から「治療費は、労災保険ではなく、健康保険を利用して欲しい」と言われた。</u>	1	2	3



問 10-3. 【問 10-1 で「15. 何もしなかった」とお答えした方におたずねします。】  
それはなぜですか。 (あてはまるものすべてに○)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 対処するのが面倒だったから  | 4. どうしたらよいのか分からなかったから |
| 2. 会社の反応が怖かったから   | 5. どうせ何も変わらないから       |
| 3. 人間関係が悪くなりそうだから | 6. その他 ( )            |

問 11. あなたが 15 歳の頃のあなたの家庭の暮らし向きは、当時の平均的な家庭と比べて、  
どうでしたか。 (○はひとつ)

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| 7. かなり良かった | 9. ほぼ平均    | 11. かなり悪かった |
| 8. やや良かった  | 10. やや悪かった | 12. わからない   |

問 12. 中学 3 年生の頃、あなたの成績はどれくらいでしたか。 (○はひとつ)

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 6. 上のほう   | 8. まんなかぐらい | 10. 下のほう |
| 7. やや上のほう | 9. やや下のほう  |          |

【最後に、現在お勤めの方にのみうかがいます (問 3-1 で「1~5」とお答えの方)】

問 13. あなたは、現在の勤め先の会社での賃金、職場環境などについて労働条件が低下するような不安や失業する不安などを感じていますか。 (それぞれ○はひとつずつ)

(1) 賃金や労働時間など、労働条件についての不安

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. かなり感じる  | 4. ほとんど感じない |
| 2. やや感じる   | 5. わからない    |
| 3. あまり感じない |             |

(2) 失業する不安

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. かなり感じる  | 4. ほとんど感じない |
| 2. やや感じる   | 5. わからない    |
| 3. あまり感じない |             |

(3) 仮に、失業した場合、現在と同じ程度の年収や福利厚生が提供される仕事を見つけられるかどうかの不安

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. かなり感じる  | 4. ほとんど感じない |
| 2. やや感じる   | 5. わからない    |
| 3. あまり感じない |             |

問 14. 現在の勤め先の会社で、次のようなことが今起こっていますか、あるいは今後起こり  
そうと感じていますか。 (あてはまるものすべてに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 賃金が引き下げられる   | 8. 仕事のノルマがきつくなる  |
| 2. 労働時間が長くなる    | 9. 配置転換          |
| 3. 残業が増える       | 10. 降格される        |
| 4. 福利厚生が低下する    | 11. 職場の人間関係が悪くなる |
| 5. 従来職場や職務がなくなる | 12. その他 ( )      |
| 6. 人員削減が実施される   | 13. 特にない         |
| 7. 職務の内容・仕方が変わる |                  |

質問は以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。

## 学習指導要領における主な記述

## 中学校

## ○ 現行学習指導要領における労働関係法制度に関する主な記述(平成10年12月告示)

## 第2節 社会

〔公民的分野〕

## 2 内容

## (1) 現代社会と私たちの生活

## イ 個人と社会生活

家族や地域社会などの機能を扱い、人間は本来社会的存在であることに着目させ、個人と社会とのかかわりについて考えさせる。その際、現在の家族制度における個人の尊厳と両性の本質的平等、社会生活における取決めの重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。

## (2) 国民生活と経済

## ア 私たちの生活と経済

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産の仕組みのあらましや金融の働きについて理解させるとともに、社会における企業の役割と社会的責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連付けて考えさせる。

## 3 内容の取扱い

(1) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

イ 生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮して、専門用語を乱用したり細かな事柄や程度の高い事項の学習に深入りしたりすることを避け、日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにすること。

## ○ 新学習指導要領における労働関係法制度に関する主な記述 (平成20年3月告示)

## 第2節 社会

〔公民的分野〕

## 2 内容

## (1) 私たちと現代社会

## イ 現代社会をとらえる見方や考え方

人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。

## (2) 私たちと経済

## ア 市場の働きと経済

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働

働条件の改善について，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連付けて考えさせる。

### 3 内容の取扱い

(1) 内容の取扱いについては，次の事項に配慮するものとする。

イ 生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮し，日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにすること。その際，制度や仕組みの意義や働きについて理解を深めさせるようにすること。

## 高等学校

### ○ 現行学習指導要領における労働関係法制度に関する主な記述(平成11年3月告示)

#### 第1章 総則

#### 第4款 総合的な学習の時間

- 1 総合的な学習の時間においては、各学校は、地域や学校、生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動を行うものとする。
- 2 総合的な学習の時間においては、次のようなねらいをもって指導を行うものとする。
  - (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
  - (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすること。
  - (3) 各教科・科目及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。
- 3 各学校においては、上記1及び2に示す趣旨及びねらいを踏まえ、総合的な学習の時間の目標及び内容を定め、地域や学校の特色、生徒の特性等に応じ、例えば、次のような学習活動などを行うものとする。
  - ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動
  - イ 生徒が興味・関心、進路等に応じて設定した課題について、知識や技能の深化、総合化を図る学習活動
  - ウ 自己の在り方生き方や進路について考察する学習活動
- 4 各学校においては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示す総合的な学習の時間の全体計画を作成するものとする。
- 5 各学校における総合的な学習の時間の名称については、各学校において適切に定めるものとする。
- 6 総合的な学習の時間の学習活動を行うに当たっては、次の事項に配慮するものとする。
  - (1) 目標及び内容に基づき、生徒の学習状況に応じて教師が適切な指導を行うこと。
  - (2) 自然体験やボランティア活動、就業体験などの社会体験、観察・実験・実習、調査・研究、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れること。
  - (3) グループ学習や個人研究などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫すること。
  - (4) 学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて工夫すること。
  - (5) 総合学科においては、総合的な学習の時間における学習活動として、原則として上記3のイに示す活動を含むこと。
- 7 職業教育を主とする学科においては、総合的な学習の時間における学習活動により、農業、工業、商業、水産、家庭若しくは情報の各教科に属する「課題研究」、「看護臨床実習」又は「社会福祉演習」(以下この項において「課題研究等」という。)の履修と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動を

もって課題研究等の履修の一部又は全部に替えることができる。また、課題研究等の履修により、総合的な学習の時間における学習活動と同様の成果が期待できる場合には、課題研究等の履修をもって総合的な学習の時間における学習活動の一部又は全部に替えることができる。

## 第6款 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項

### 4 職業教育に関して配慮すべき事項

- (1) 普通科においては、地域や学校の実態、生徒の特性、進路等を考慮し、必要に応じて、適切な職業に関する各教科・科目の履修の機会の確保について配慮するものとする。
- (2) 職業教育を主とする学科においては、次の事項に配慮するものとする。
  - ア 職業に関する各教科・科目については、実験・実習に相当する授業時数を十分確保するようにすること。
  - イ 生徒の実態を考慮し、職業に関する各教科・科目の履修を容易にするため特別な配慮が必要な場合には、各分野における基礎的又は中核的な科目を重点的に選択し、その内容については基礎的・基本的な事項が確実に身に付くように取り扱い、また、主として実験・実習によって指導するなどの工夫をこらすようにすること。
- (3) 学校においては、地域や学校の実態、生徒の特性、進路等を考慮し、就業体験の機会の確保について配慮するものとする。
- (4) 職業に関する各教科・科目については、次の事項に配慮するものとする。
  - ア 職業に関する各教科・科目については、就業体験をもって実習に替えることができること。この場合、就業体験は、その各教科・科目の内容に直接関係があり、かつ、その一部としてあらかじめ計画されるものであることを要すること。
  - イ 家庭、農業及び水産に関する各教科・科目の指導に当たっては、ホームプロジェクト並びに学校家庭クラブ及び学校農業クラブなどの活動を活用して、学習の効果を上げるよう留意すること。この場合、ホームプロジェクトについては、その各教科・科目の授業時数の10分の2以内をこれに充てることができること。
  - ウ 定時制及び通信制の課程において、職業に関する各教科・科目を履修する生徒が、現にその各教科・科目と密接な関係を有する職業（家事を含む。）に従事している場合で、その職業における実務等が、その各教科・科目の一部を履修した場合と同様の成果があると認められるときは、その実務等をもってその各教科・科目の履修の一部に替えることができること。

## 第2章 普通教育に関する各教科

### 第3節 公民

#### 第2款 各科目

##### 第1 現代社会

###### 2 内容

- (2) 現代の社会と人間としての在り方生き方

###### イ 現代の経済社会と経済活動の在り方

現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解させるとともに、個人と企業の経済活動における社会的責任について考えさせる。

##### 第3 政治・経済

###### 2 内容

- (3) 現代社会の諸課題

###### ア 現代日本の政治や経済の諸課題

大きな政府と小さな政府、少子高齢社会と社会保障、住民生活と地方自治、情報化の進展と市民生活、労使関係と労働市場、産業構造の変化と中小企業、消費



者問題と消費者保護，公害防止と環境保全，農業と食料問題などについて，政治と経済とを関連させて考察させる。

## 第4章 特別活動

### 第2 内容

#### A ホームルーム活動

- (3) 学業生活の充実，将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること。  
学ぶことの意義の理解，主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用，教科・科目の適切な選択，進路適性の理解と進路情報の活用，望ましい職業観・勤労観の確立，主体的な進路の選択決定と将来設計など

### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

#### 1 指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

- (1) 学校の創意工夫を生かすとともに，学校の実態や生徒の発達段階及び特性等を考慮し，教師の適切な指導の下に，生徒による自主的，実践的な活動が助長されるようにすること。その際，ボランティア活動や，就業体験など勤労にかかわる体験的な活動の機会をできるだけ取り入れるとともに，家庭や地域の人々との連携，社会教育施設等の活用などを工夫すること。
- (2) 生徒指導の機能を十分に生かすとともに，教育相談（進路相談を含む。）についても，生徒の家庭との連絡を密にし，適切に実施できるようにすること。
- (3) 学校生活への適応や人間関係の形成，教科・科目や進路の選択などの指導に当たっては，ガイダンスの機能を充実するようホームルーム活動等の指導を工夫すること。
- (4) 人間としての在り方生き方の指導がホームルーム活動を中心として，特別活動の全体を通じて行われるようにすること。その際，他の教科，特に公民科との関連を図ること。